

九州 広報



平成23年 7月10日

(2011年)

No 1674

九州森林管理局

〒860-0081

熊本市京町本丁2-7

IP電話 050-3160-6600(代表)

<http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/>



第5回森林・林業セミナー

日本の森林・林業の再生をどう図るか 九州各地から360人が参加

我が国の森林・林業再生を図り、「10年後の木材自給率50%以上」を目指すべき姿とする「森林・林業再生プラン」が平

成21年12月に農林水産省により策定され、平成22年12月には、その具体的な推進方策として「森林・林業の再生に向けた改

革の姿」がとりまとめられました。さらに、本年4月には「森林・林業再生プラン」を法制面で具体化するた

め、6月30日に「日本の森林・林業の再生をどう図るか」をテーマに九州森林管理局大会議室において、「国際森林年記念 第5回九州森林・林業セミナー」を開きました。

同セミナーは、これまで、低コスト育林や列状間伐、生物多様性の保全と森林の役割、木材利用の拡大などをテーマに4回開催。

5回目となる今回は、林政審議会会長として、また森林・林業基本政策検討委員会座長として「森林・林業再生プラン」の策定や実施に中心的に関わってこられた岡田秀二岩手大学農学部教授に「我が国の林政の改革と今後への期待」と題して、我が国のこれまでの森林・林業・林政の展開について歴史的な流れ、当時の施策等についての批評、現状における課題について、また、「森林・林業再生プラン」が政府の新成長戦略など政策の根幹として位置づけられていることのほか、森林・林業の再生のために市町村森林整備計画のマスタープラン化とこれに基づきつくられる森林経営計画が

意識を共有していた。また、6月30日に「日本の森林・林業の再生をどう図るか」をテーマに九州森林管理局大会議室において、「国際森林年記念 第5回九州森林・林業セミナー」を開きました。

大きな鍵を握っており、そのため、市町村や県の役割が重要になる等の講演をいただきました。続いて、沖修司九州森林管理局長が「九州からの森林・林業の再生」と題して、九州の森林・林業の現況として、主伐期を迎えたスギ人工林への対応を加速化することや林業コストの低減、小規模分散している森林の集約化、林業事業体の育成、フォレストスター等の人材の育成等の九州の林業の課題のほか、林業の低コスト化、シ力被害対策、准フォレストスター等の育成、紙分野での間伐利用の拡大等、九州森林管理局の森林・林業再生への取り組みと、将来（10年後）の九州の森林・林業の姿などについて講演しました。

講演の後の質疑応答では参加者から寄せられた森林・林業再生プランに対するさまざまな疑問等を岡田教授に丁寧にお答えいただきました。

今回のセミナーには一般市民や行政関係者などこれまでのセミナーで、最も多い360人の参加があり、参加者からは、「講演内容が充実していて理解しやすかった。将来に向けて、何をすべきか見えたような気がした」などの声が聞かれました。

セミナーにおいて講演を行う岡田秀二岩手大学農学部教授と参加者

このような中、我が国や九州における森林・林業の現状、「森林・林業再生プラン」の意義やその目指すところを多くの方々にご理解いただき、森林・林業の再生に向けた

（担当）指導普及課



大分森林管理署

竹田森林事務所

首席森林官 園田 敏明

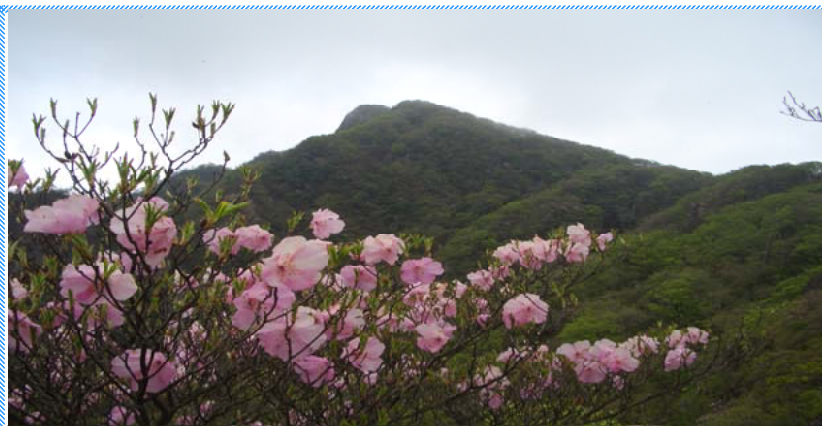
当森林事務所の南側には、大分と宮崎の県境に位置する祖母山をはじめ障子岳（1703㍎）、古祖母（1633㍎）、本谷山（1643㍎）、傾山（160

山岳信仰の山
「祖母山」1756・4㍎

2㍎）などの主稜が連なり、風致景観に優れているとともに、貴重な動植物の生息・生育地で、祖母傾国定公園に指定されています。

また、祖母山の宮崎県側の大

崩山周辺を含めた一帯は、「祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域」として設定され、上層木のモミ、ツガ、ブナ、ミズナラなどの原生的な森林が存在し、その下層にはギレンゲシヨ



(上) 登山道から望めるアケボノツツジと祖母山

(下) 日本百名山のひとつ祖母山山頂

祖母山は、日本百名山のひとつとされ、大分県側からは数ルート

の登山道があります。尾平から宮原、馬の背を経由するルートをお勧めします。二合目から

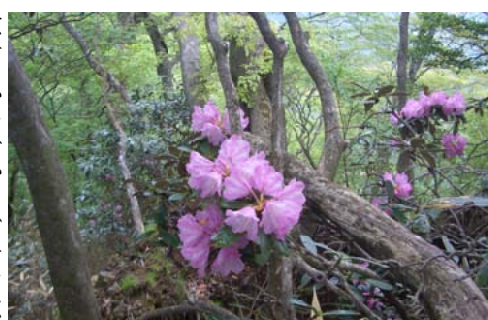
ウマ、ウバタケニンジン、アケボノツツジなどが生育しています。当地域は、特別天然記念物のニホンカモシ

サビ、ヤマネなどの貴重な動物が生息しています。

このコースは往復約7時間程度かかり、急峻で岩場や滑りやすいところもあります。体力と高度な知識と技術・経験を有する者と登山し、祖母山の醍醐味を味わってください。

祖母山の名は、山頂に神武天皇の祖母、豊玉姫命の祠が祀っていることに由来します。天気の良い日の山頂からは、阿蘇の山々、くじゅう連山、傾山へ連なる名峰群の眺望が堪能できます。

祖母山の名は、山頂に神武天皇の祖母、豊玉姫命の祠が祀っていることに由来します。天気の良い日の山頂からは、阿蘇の山々、くじゅう連山、傾山へ連なる名峰群の眺望が堪能できます。



登山道脇に咲き誇るツクシシャクナゲ

久松フォーラム in 屋久島 150人

【屋久島森林管理署】NPO

九州森林ネットワーク（理事長北里小国耕亮町長）が主催する第15回九州森林フォーラム「島の森と生きる」自然の豊かさと共存する暮らし」が屋久島町で開催され、島内外から150人が参加しました。はじめに、元森林総合研究所の藤森隆郎氏が基調講演。その後、事例報告が行われました。午後からはパネルディスカッションが行われ、パネラーとして屋久島森林管理署長木暮甲吉署長も参加。有意義なフォーラムとなりました。



パネルディスカッション参加のパネラーの皆さん＝屋久島

治山事業予定地で地元説明会

【鹿児島森林管理署】地元自治公民館長や鹿児島市など関係者28人が参加し、桜島地区民有林直轄治山事業地元説明会を開催。一行は平成23年度事業予定個所を視察し、治山事業の重要性・有効性について確認しました。参加者からは、「最近は大石流災害もなくなり感謝しています。住んでいる桜島の状況を別の角度から見ることができました」などの意見が寄せられ、治山事業の重要性を改めて認識させられた一日となりました。



23年度事業予定個所を視察する一行＝鹿児島

【熊本南部森林管理署】当署管内の大畑国有林「千年の森林」

緑のオーナー友の会が交流会

で、「緑のオーナー友の会平成



交流会へ参加された皆さん＝熊本南部

23年度交流会」が開かれ、会員ら約40人が家族連れで参加。当日は、野外料理などを堪能しながら、子供らを対象に紙芝居やビンゴゲーム、スイカ割りなどで交流を深めました。昨年は口蹄疫の影響で見送られ、2年ぶりの開催となり再会を待ち望んでおられた方も多く、来年の参加を誓い合い散会しました。

森林教室で体験林業

【熊本森林管理署】熊本市立川上小学校5年生の児童112

地域に期待される農林高校を目指して

本校のある伊佐市は、鹿児島

県の北部に位置し、熊本県との県境にあり、農業・林業が盛んな地域である。伊佐地域の林業はヒノキの人工林の割合が大きいのが特徴である。

平成22年6月には、「森林・林業の再生」が国家プロジェクトの一つとして位置づけられ、10年後の「木材自給率50%以上」を目標としている。

公共の建物への木材の利用が促進され、

「伊佐ヒノキ」の需要が増える



鹿児島県立

伊佐農林高等学校

校長 田上 博さん

ことを期待している。さて、本校森林工学科では伊佐市の所有している山林を分収

や森林組合連合会の協力で林業就業支援講習の一環として、2年生を対象に刈り払い機・チェーンソー・林業作業者の講習を受講し、3年生を

対象に車両系建設機械や小型移動式クレーンの講習を受講している。この取り組みは林業の後継者育成や将来

の進路選択に大きく役立っている。林業の分野では、早くから地



丸太切りをする児童ら＝熊本

ペントを終了しました。



千原 弘さん

私は、幼少の頃より少年期まで「山」「川」「海」「小さなせまい農地」と大自然一杯の小さな片田舎で生まれ育ちました。その関係で「地球上で人間、動植物、生物、すべてが大自然無しでは生きられない、大自然有ってはじめて生きていける」



歩道整備を行う参加者の皆さん＝大分西部

夏山の安全に役

【大分西部森林管理署】久住

山の山開きを前に、九重の自然を守る会と共同で、登山者の安全を守るための誘導標や歩道沿いの整備を行いました。九州の屋根と呼ばれる久住連山は、登山ブームで幅広い年齢層が訪れ森林浴から本格的な登山まで受け入れる懐の深さがあり、事故も増加傾向にあります。自分の体力に合わせて安全に高原の夏を楽しんでもらいたいものです。と、言うことを実感しています。

この山を私は、木の实拾いをするなど心をいやす場として、また、家庭の燃料用材の調達の間として活用してきました。

30数年程前までは、多くの人々が生活し、直接的、間接的にも密接な関係で結ばれていたように思います。

ところが、現在の日本では燃

モニター会議での私の感想

料やエネルギー源となる石油やガスなどは輸入品に依存、木材も安い輸入材に8割も依存している現状となっています。

国産材の自給率をせめて5割までUPさせないと日本の林業は衰退し、緑の山は荒廃するばかりで、私たち国民の生活環境に



ゴミ撤去作業に参加した関係者＝宮崎北部

も悪影響を及ぼすと危惧しています。国有林モニターの一人としてモニター会議や意見交換会の場などを通して感じたことは次の3点です。

はじめに、国有林も採算を重視してやっているなあと感じました。その中で、国はもっとリー

アックアップをとり、地方公共団体、民間業者を指導、援助すべきと感じました。

次に、間伐材を利用したコピー用紙や小萩園内の歩道を間伐材の木材チップ敷にするなど、間伐材の利用拡大の取り組みがなされていることを知ることが出

「ゴミの日」にクリーン活動

【宮崎北部森林管理署】5月

30日の「ごみゼロの日」に併せ、延岡市で不法投棄防止に関する活動が開催され、不法投棄物の撤去作業が行われました。当日は加盟する関係機関や地元住民などが河川敷の清掃に汗を流しました。空き缶やビンなどたくさんさんのゴミを収集。参加者からは「ゴミを捨てるのは簡単ですが、キレイにするには、多くの人の協力が必要だと感じました」来しました。

最後に、国産材の利用拡大、自給率向上の為に役所だけに頼るのではなく、私達国民一人一人も積極的に協力し、建設的な意見を提言し行動に移すべきで、官民一体となって国産材自給率50%UPを目指し行動しなければならぬと思います。

私は、現在「森林

ボランティアアークまもと」の一員として森林の植樹、下草刈などやっています。このような取り組みは、日本国内の緑の山が保たれ、引いては私たち国民全体のより良い生活と環境が保たれるものだと感じています。

(熊本県宇土市在住)

小学生が貯木土場を見学

【屋久島森林管理署】屋久島

町立小瀬田小学校の1年生から4年生が、安房貯木土場などを見学しました。屋久島の林業や、伝統的な屋久杉工芸などの見学では、「ヤクスギの歴史と土埋木について」腐りにくいヤクスギの特徴や、スギ人工林材との違いなどを説明すると、子どもたちはヤクスギ土埋木に触ったり、臭いを嗅いだり、スギ人工林材の円盤と比較するなど興味深く話を聞いていました。



ヤクスギの土埋木に関心を示す児童ら＝屋久島

永年勤続の功績を称え

1級50人と2級15人農林水産大臣表彰伝達

6月14日九州森林管理局2階
大会議室において、国有林野事
業職員定期表彰伝達式を開催。

1級精勤章（勤続30年）50人
と2級精勤章（勤続20年）15人
に農林水産大臣表彰の伝達を行
いました。

氏名・所属は次のとおりです。

1級精勤章（勤続30年）

◇定員内職員◇・・・37人

宮城勇朗（計画部）
高村俊郎（職員厚生課）
山本克郎（職員厚生課）
溝越啓二（経理課）
酒井昭則（経理課）
興相美喜夫（経理課）
峰内浩昭（計画課）
田中佳晴（指導普及課）
長瀬直（森林整備課）
本田勝美（森林整備課）
有蘭敏行（販売課）
渡辺浩司（販売課）
赤星良治（治山課）
柏木正美（森林技術センター）
副島利博（佐賀署）
宮木利浩（熊本署）
坂田博之（熊本南部署）
吉田弘幸（熊本南部署）

山本正（宮崎南部署）
由谷浩一（宮崎南部署）
黒谷幸樹（北薩署）
濱田辰広（鹿児島署）
上之段斗波（大隅署）
木村通（大隅署）

◇基幹作業職員◇・・・13人

坂本幸弘（熊本南部署）
池田健太郎（熊本南部署）
甲斐幸久（熊本南部署）
木村圭文（大分西部署）
佐々木修身（大分西部署）
吉良政敏（大分署）
美村訓宏（大分署）
寺尾勉（宮崎南部署）
多田淳一（宮崎南部署）
小島秋雄（鹿児島署）
藤垣孝一（鹿児島署）

2級精勤章（勤続20年）

◇定員内職員◇・・・14人

野邊忠司（企画調整室）
古村健児（経理課）
後藤毅（販売課）
小糸照雄（長崎署）
小園英行（熊本署）
鈴木誠（大分西部署）
竹原敬一郎（大分西部署）
高瀬智晶（大分西部署）
白坂進（西都児湯署）
水本利香（都城支署）
森俊之（宮崎南部署）
金田伸也（北薩署）
花田孝文（鹿児島署）

新原恵（大隅署）
本場高男（大隅署）



朝は七時十分に家をでる。

北薩森林管理署があるさつま町に来て二年が過ぎた。町の中

心を川内川が流れ、冬は霧が立ちこめ、川内川を挟んだほろけ

な街並みとはのかな朝日が幻想的な風景を醸し出す。

職場まで直線で歩けば十五分

だが、健康のため回り道をする。

この時間は子供たちの通学時間とも重なり、行き交う子供たち

さつま町にて

と挨拶を交わす。黄色い帽子をかぶった子供は新小学一年生で体の半分もあるようなランドセル背負っていて愛くるしい。紫尾山が北西の方向に見える。さつま町と出水市にまたがり、

与謝野晶子は「轟きの瀬は川の火ぞ少年はつぶとなりて焰に遊ぶ」と歌っている。意味はわからないが、轟の瀬の激しさが伝わってくる。

庁舎は平成十九年に薩摩川内市から移ってきた。庁舎に入り、

さつま町からはその勇姿がよく見え、紫尾山に対する思い入れも大きい。

四十五分歩くと川内川の轟の瀬に近づく、もう職場も近い。

ここには時々ヤマセミが顔を見

二階に上がる。「おはようございます」と声をかけて入ると、「おはようございます」と帰ってくる。朝の五十分の通勤が終わり一日の仕事が始まる。（北薩森林管理署長 大川有二）

宮川貴之（大隅署）
◇基幹作業職員◇・・・1人
小城守（宮崎南部署）

自然観察会に40人参加

【熊本南部森林管理署】環境省希少野生動植物種保存推進員の乙益正隆氏を講師に迎え、熊本県五木村の大滝公園周辺国有林において「人吉・球磨自然観察会」を開きました。当日は好天に恵まれ、各方面から40人の参加がありました。参加者は、乙益氏の丁寧な説明に耳を傾けながら林道沿いの植物を観察。メネズを探るなど植生や森林の生態などに理解を深めました。



講師から植物の特徴などについて説明を聞く参加者（熊本南部）

第1回実践講座
公開・講座

29人「葉の構造」を学ぶ

「森林のさまざまな働きや大切さ」を一般の方々に広く理解していただくため、熊本城の一角にある監物台樹木園において年5回の「実践・公開講座」を計画しています。

第1回の講座は、6月19日「葉の構造を学ぶ」と題して、一般公募により29人が参加しました。

参加者は、同樹木園内の「みどりの交流館」で、下崎哲也指導普及課長補佐のあいさつの後、九州森林インストラクター会の安樂行雄さんから「植物の



ルーペを使い葉の構造を見る受講者のみなさん

分類や専門用語・種の不思議について」の説明を受けました。

当日は、雨となり野外観察が出来ませんでしたが、インストラクター会の皆さんが事前に採取したいろいろな木の枝を教材に、ルーペを使って葉を観察したり、インストラクターの説明に又千をとなげ熱心に聞き入っていました。

参加者からは「ユーモアを交えた説明でわかりやすくて楽し



エゴノキの花は下向きにびっしりと咲きますので、アルバムの整理には注意しましょう。下向きに咲くのは、蝶や虫をみんな歓迎しているのではなく、受粉してくれる脚力の強い虫だけを選ぶ工夫をしているのです。エゴノキの花が咲く時期に森を歩き、歩道いっぱい白米をばらまいたように花弁が散っているのびっくりします。

エゴノキの果実の皮をすりつぶして魚を捕ったとの話を聞きますが、魚が捕れたのでしょうか。

かった」などの意見が寄せられ、第1回の講座を終了しました。
(担当：指導普及課)

日之影小で届け講座

【宮崎北部森林管理署】日之影町立日之影小学校3年生の児童5人を対象に、お届け講座「森林環境教育」を行いました。

最初に紙芝居「森からのおくりもの」で森林の働きや木製ハガキづくり、木の名前当てクイズなどを実施。その後、校庭にある樹木について、観察の仕方や名前、その特徴について説明しました。森林の役割やその大

④6 エゴノキ (エゴノキ科)

か。毒性の強いエゴサポニンが含まれていますので魚は捕れたと思います。

エゴノキは、枝がジクザクに伸び、冬芽が1個でなく負ぶったように2個、3個とついていることの確認で判別できます。

花が咲いた後に「猫の脚」のようなものがぶら下がっていることがあります。虫の虫屋です。

虫屋には50頭前後の「エゴノネコノアシアブラムシ」という長い名前を持った虫がいます。和傘のロク口ロに使用されたことで有名です。樹木園中央東側に高

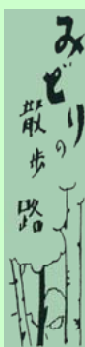


さ4杯のエゴノキがあります。



熱心に説明を聞く児童ら＝宮崎北部

切さなど身近な樹木に興味を持つための学びの場となりました。



東日本大震災から今年11日で4ヶ月がたちます。震災発生当初は被害状況の把握もままならず、混乱していた様子が思い出されます。今は混乱も収まり復興に向けての取り組みが目いさますが、未だに行方不明者の方やその家族のことを思えばむねが痛みます▼福島第一原発の放射能漏れなど解決困難な問題もさることながら、稼働しない原発が多く、深刻な電力不足は待ったなしです▼今年は「節電の夏」が本格化します。7月1日、東京電力、東北電力管内で電気事業法による電力使用制限令が発動され、企業や自治体は電力使用を減らすため、サマータイムの導入や休日操業、ある都道府県では家庭での消費電力を減らせた家庭にはポイントを与え、商品券に交換できる制度の導入を検討するなど様々な対策を行っています▼エアコンの設定温度を28℃に押さえるのは良く聞く節電対策ですが、節電が先に立ち熱中症になってしまっは大変です。こまめに水分を取り、節電対策グッズを上手く利用しながらこの夏を乗り切りたいものです。(恵)